

ひかり

日光市少年指導センターだより 第21号

発行：令和6年9月 日光市少年指導センター

(日光市教育委員会事務局生涯学習課内)

TEL 0288-21-5182 FAX 0288-21-5185

日光市少年指導センター 齋藤良介所長あいさつ

日光市少年指導センターでは、家庭、学校、地域が連携した地域ぐるみによる取り組みで、子供たちを守り、健やかな成長につなげてまいりたいと思います。今後もより一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

日光市少年指導委員会の進捗は順調！

5年ぶりに日光地区総会（5月20日）・今市地区総会（5月28日）が対面開催として実施できました。お忙しい中にもかかわらず、委員の皆様が多数参加され、議案の承認を頂けたことに感謝申し上げます。5月28日には日光市全体の役員会を実施し、役員同士が交歓し、今年度の活動方針を共有することができました。



この日に日光市少年指導委員会石川会長と齊藤副会長が市長に表敬訪問しました。今年度は上都賀青少年連絡協議会の事務局を日光市が担当し、少年の主張上都賀大会などのイベントを運営することになります。この件も含めて日光市少年指導センターの代表として会長・副会長が市長にご挨拶し、日々の青少年の健全育成の取り組みに労いのことばをかけていただきました。また、今後の委員会研修などへのご協力をお願い致しました。

本年度は、コロナ禍前の活動に創意工夫を凝らして、委員の皆様が積極的に取り組んでおります。特に各班の班長はリーダーシップを発揮し成果を出しています。

本年度は、コロナ禍前の活動に創意工夫を凝らして、委員の皆様が積極的に取り組んでおります。特に各班の班長はリーダーシップを発揮し成果を出しています。

令和6年度前半 少年指導委員活動より



4月17日（水）弥生祭特別街頭指導

他、東照宮例大祭 湯西川平家大祭 鬼怒川龍王祭



6月2日（日）小来川地区内危険箇所巡回

足尾町納涼祭 日光花火大会 等の巡回指導を実施しました。

主体性と気づき・学びの分散型研修

本年度の日光市少年指導委員研修は、日光地区総会及び今市地区総会にて、過去の一斉研修や視察研修を変更し、分散型研修実施の運びとなりました。実施の理由は、研修の選択肢を増やすことで、委員の主体性を重視し自主研修を推進するため、そして、子どもたちの目線に立ち、学校教育現場から多くの学びや気づきを得て、本人の任務に活かすためです。

お蔭様で、各講習会に適度な人数が集まり、真剣に受講しました。

日光中学校『情報モラル講習会』



ネットに潜む危険性について、生徒にわかりやすく説明していただきました。ネットトラブルについては、繰り返し学びながら正しい知識を得ることが重要と感じました。

大沢中学校『性に関する指導』



専門家から丁寧に説明していただくことで、自分を大切にすることで相手も大切にできること、SNS関連の性被害への注意喚起は心に響きました。

藤原中学校『ネット時代の歩き方講習会』



ネットを使わないで過ごすことが難しい時代ですが、使うために疑問を持ち考える力を養うことが重要です。『人は「Information」のためにいろいろな道具（スマホ）などを作り、道具を使うため「intelligence」を働かせ必要がある。』のことが印象に残りました。

**分散型研修後半の部を予定しています。
学校に行っても子どもたちと一緒に学習しましょう！**

～タダコメ～ 7月は「青少年の非行・被害防止全国強調月間」でした。

第1回立入調査(7.11)より 先輩調査員の振る舞いに感激

立入調査は、栃木県青少年健全育成条例に基づいて、青少年を取り囲む環境浄化を図ることが目的です。今回はセンター職員、市職員、警察署員8名が3班に分かれて、主にコンビニ、カラオケ店を調査しました。調査対象となった店舗は抜き打ち（コンビニ）にも関わらず謙虚に調査に応じてくれました。

小生は初めての調査活動でした。先輩調査員の行動や振る舞いから多くのことを学びました。自己紹介、訪問の目的などの説明はてきぱきとスムーズに進め、肝心の聞き取り・確認事項は経験知識を活かして的確でした。店舗に不快感を与えず、アドバイスなどをしっかり行い、仕事を全うしているなど感激しました。

後日、私的にコンビニに買い物に行くと、立ち入り調査のことが蘇り、何気なく確認することが癖になってしまいました。